



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社
コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 横内 達治

TEL 03-5777-5120

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	21,810	1.5	135		181	34.5	109	57.2
2022年3月期第3四半期	22,135	9.7	127	73.7	277	392.2	256	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 385百万円 (12.8%) 2022年3月期第3四半期 342百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	10.33	
2022年3月期第3四半期	24.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	35,098	14,153	39.6	1,308.12
2022年3月期	34,576	13,990	40.0	1,299.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,902百万円 2022年3月期 13,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		27.00	27.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,570	1.4	120	78.8	350	55.2	95	28.9	8.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	11,459,223 株	2022年3月期	11,459,223 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	831,503 株	2022年3月期	831,503 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	10,627,720 株	2022年3月期3Q	10,627,814 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外出制限が緩和され、ウィズコロナにむけた新たな生活様式が進む中、個人消費はやや持ち直しの兆しが見られてまいりました。しかしながら、新たな変異株の出現による新型コロナウイルスの再拡大に加え、世界的な資源価格の高騰、為替の大きな変動による物価の高騰により、消費の低迷など景気への影響は依然予断を許さない状況にあります。

このような環境の中、当社グループは、従業員の健康・安全を最優先に配慮した上で、感染対策を徹底しながらも、お客様とのコミュニケーションづくりにあらためて注力するとともに、成長を持続するため各事業において、人材育成、商品力の強化、構造改革に取り組みました。

この結果、当グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、依然消費マインドが弱い状況が続くなか、人員体制の確保が厳しかったこともあり、売上の回復にいたらず、売上高は218億10百万円(前年同期比1.5%減)となりました。営業損益は1億35百万円の損失(前年同期は1億27百万円の利益)となり、経常利益は、為替差益等により1億81百万円(前年同期比34.5%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失等により、1億9百万円(前年同期比57.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 宝飾品

外部顧客への売上高は、お客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みを強化し進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大など消費マインドが回復しきれない中、人員体制の確保が厳しかったこともあり183億4百万円(前年同期比2.7%減)となり、セグメント利益は27百万円(前年同期比89.1%減)となりました。

② 眼鏡

外部顧客への売上高は、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成などを強化していくことにより、20億3百万円(前年同期比8.0%増)となり、セグメント利益は、37百万円(前年同期比31.1%増)となりました。

③ 食品販売・飲食店

外部顧客への売上高は、よりオリジナリティのある商品開発に取り組むなど、マーケットの変化に対応してまいりましたが、15億2百万円(前年同期比2.0%増)となり、セグメント損益は2億4百万円の損失(前年同期は1億60百万円の損失)となりました。

当四半期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	366	68	31
新規出店	7	3	3
閉店	△11	△2	—
当四半期末店舗数	362	69	34

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の345億76百万円より5億22百万円増加し、350億98百万円となりました。主な増減は、商品及び製品などの棚卸資産の増加17億95百万円及び受取手形及び売掛金の増加3億44百万円と、現金及び預金の減少19億5百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末の205億85百万円より3億59百万円増加し、209億44百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加2億22百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加1億2百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末の139億90百万円より1億63百万円増加し、141億53百万円となりました。主な増減は、為替換算調整勘定などのその他包括利益の増加2億71百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億9百万円の計上による利益剰余金の増加と、剰余金の配当2億86百万円による利益剰余金の減少などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表した2023年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,617	6,711
受取手形及び売掛金	2,207	2,551
商品及び製品	11,098	12,187
仕掛品	1,439	1,671
原材料及び貯蔵品	3,300	3,774
その他	337	410
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	26,999	27,306
固定資産		
有形固定資産	1,829	1,926
無形固定資産	167	161
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,523	2,481
その他	3,058	3,223
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,579	5,703
固定資産合計	7,576	7,791
資産合計	34,576	35,098
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,451	4,483
資産除去債務	-	23
1年内返済予定の長期借入金	3,983	4,086
未払法人税等	173	34
賞与引当金	424	198
その他	2,266	2,679
流動負債合計	11,298	11,504
固定負債		
長期借入金	6,917	7,139
役員退職慰労引当金	694	710
退職給付に係る負債	1,595	1,483
資産除去債務	74	101
その他	4	5
固定負債合計	9,286	9,440
負債合計	20,585	20,944

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	9,376	9,192
自己株式	△570	△570
株主資本合計	13,762	13,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	162
為替換算調整勘定	7	194
退職給付に係る調整累計額	△58	△33
その他の包括利益累計額合計	52	323
非支配株主持分	175	251
純資産合計	13,990	14,153
負債純資産合計	34,576	35,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	22,135	21,810
売上原価	9,328	9,179
売上総利益	12,807	12,630
販売費及び一般管理費	12,679	12,765
営業利益又は営業損失(△)	127	△135
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
受取手数料	21	21
為替差益	153	312
その他	6	10
営業外収益合計	185	348
営業外費用		
支払利息	28	27
その他	6	3
営業外費用合計	35	31
経常利益	277	181
特別利益		
助成金収入	203	13
特別利益合計	203	13
特別損失		
減損損失	7	86
店舗閉鎖損失	4	-
臨時休業による損失	81	-
特別損失合計	93	86
税金等調整前四半期純利益	387	109
法人税等	122	△5
四半期純利益	265	114
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	256	109

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	265	114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	59
為替換算調整勘定	61	187
退職給付に係る調整額	4	24
その他の包括利益合計	76	271
四半期包括利益	342	385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	380
非支配株主に係る四半期包括利益	8	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったエステールカンボジアCO., LTD.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年5月12日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2021年3月31日	2021年6月14日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月31日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2022年3月31日	2022年6月14日	利益剰余金